

これからの学校と地域 第2号



熱を感じた第2回船生小学校区地域連携研修会

1 「子どものために」「地域のために」へ

8月に実施された船生小学校区地域連携研修会に引き続き、11月11日（水）に第2回の研修会が船生小学校にて開催されました。

第1回の研修会では、船生地区の子どもたちの「育ってほしい姿」についてグループごとに考えていただきました。今回の研修では、その姿へとアプローチする具体的な手段について考えていただきました。

研修内容の詳細は後段で述べますが、研修をとおして感じたことは、船生地区の皆様と船生小学校の先生方の「熱」でした。終始和気あいあいとした雰囲気の中で研修は進みましたが、出される意見や考えには随所に「子どものために」という思いが感じられました。

そして、その意見や考えが熟議の中で熟成し、「子どものために」から「地域のために」へと昇華していく様子が見て取れました。そこには間違いなく、船生地区を思う「熱」があったのです。

2 研修会の内容

研修会のメインタイトルは「船生の子どもをみんなで育てる〇〇作戦」としました。地域と学校が共に「育ってほしい子ども像」に迫る具体的手段を考えることが目的です。

前回と同じグループでの熟議ということで、今回はいきなり本題から入っていただきました。まず、前回の研修で設定した各グループの子ども像をふりかえりました。

続いて『みんなで共有！船生地区の強みは？』について、ヒト・モノ・コトの視点からざっくばらんに話し合いました。これが後に生きてくるからです。



地域の強みは協働活動を進めるための強い武器になります。これらを共有したのち、『子ども像に迫る〇〇作戦を立てましょう！』について付箋ワークを行いました。

ここで出された考えが実に多彩で、夢があるものでした。ほんの一例ですが、「船生歌舞伎出演作戦」や「船生ローカル番組作成」「船生の山登り」「子どもキャンプ」「NEW FunnyUPPR作戦」「道の駅でのお仕事体験」「子どもホームページ設立」「船生の歌づくり」「そして「船生FM（ラジオ）」の設立」など、実に楽しく夢のある活動が提案されました。

そんなのできるわけがないと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、実際にそのような意見もありました。まさにこのコロナ禍の中……と。

事業や行事を始めるには、それなりの前提が必要になります。予算やヒト、モノ、時間、学校であれば教育課程……挙げればきりがありません。しかし、そんな

ものはやりたいことや夢をたくさん出してから考えればいいのです。そのようなフィルターは後からかければいいのです。制約ありきで考え出した意見に、果たして地域は、主役である子どもたちは、魅力を感じてしまうでしょうか。

できない、やれない、制限せざるを得ないなど、ないないづくしの昨今、地域と学校の力でそれらを少しでも夢あるもの、楽しいものにするのが、今求められている協働活動なのではないでしょうか。大人がワクワクする夢を描くからこそ、子どもも自由に夢を描けるようになるはずですよ。

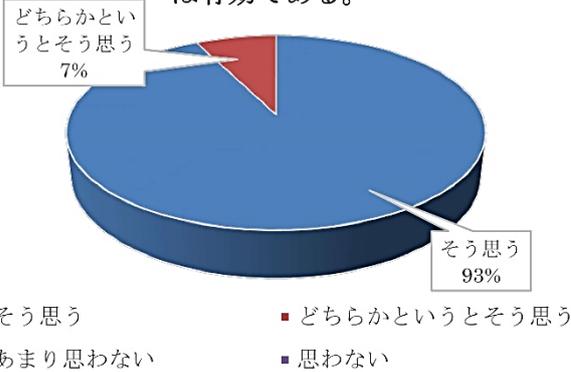
さて、意見を書いた付箋紙を「地域主体か学校主体か」「すぐできるのか時間がかかるのか」を縦横軸で示した模造紙に分類しました。こうすることで、のちに使える資料となります。

最後に、『これがおすすめ！我が班の〇〇作戦』として、おすすめ作戦を一つ発表していただきました。書いた意見に勝るとも劣らない熱のこもった（笑いも散りばめられた）発表となりました。

意見がまとめられた模造紙は、今後の活動についてコーディネーターと学校とで話し合う際の資料として使われます。船生の「熱」は、「夢」で終わらせない力があると感じました。

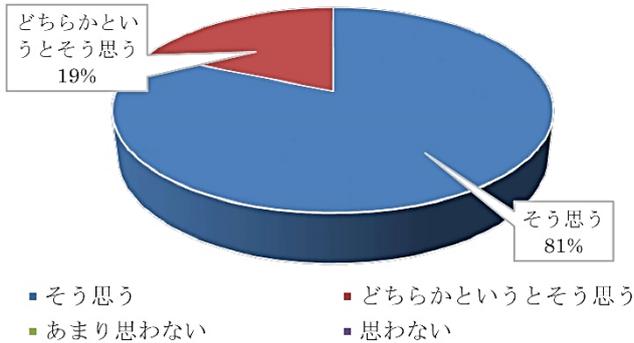


(1) 学校と地域の連携を図る上で、熟議は有効である。



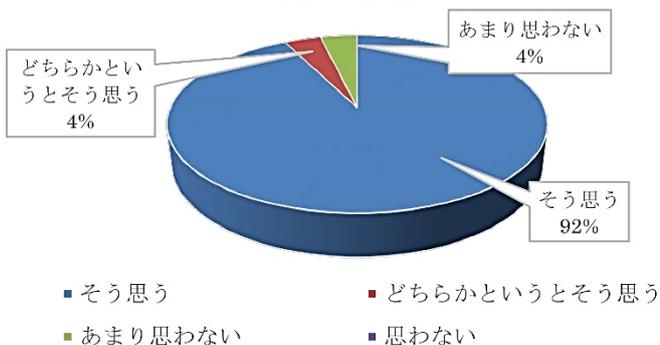
そう思う	25人
どちらかというと思う	2人
あまり思わない	0人
思わない	0人

(2) 学校と地域双方の思いを出した話合いができた。



そう思う	22人
どちらかというと思う	5人
あまり思わない	0人
思わない	0人

(3) 学校と地域の研修会を、今後も実施したほうがよい。



そう思う	25人
どちらかというと思う	1人
あまり思わない	1人
思わない	0人

【自由記述】一部抜粋

- このような研修をPTAとかで実施することで、更に有効的になるのではないかと思います。特定の人だけではなく、地域全体でという意味からも。
- とても楽しく研修ができました。ちょっと距離を感じる先生方とも楽しく話げできました。このような機会に、学校と地域が近づくことができるのだと感じました。
- 人が集まると、パワーアップすることが体感できました。1+1+1+1+1=10以上の感じでした。いや、それ以上かも。
- 地域の若い方(20代、30代)の参加もあれば・・・と思います。改めて地域のこと、子どものこと、学校のことを見つめ直すいい機会でした。いろいろな「夢」があり、おもしろかった。
- 「夢」を皆さんがいきいきとして語っておられ、実現するといいなと心から思いました。ありがとうございました。
- いろいろな視点から物事を考えることができました。地域と学校との価値観はすべて同じではないと思います。ですので、こういう場ですり合わせ、同じゴールに向かう研修は必要だと思います。
- 地域の方、保護者の考えを出し合い、話し合うことで、その思いとできることが見えてきたと思う。今後、具体的な活動へと進んでいくのが楽しみである。
- 非現実的な企画を議論してどうなのかと思いました。

